拠出金・基金
の名称

国連食糧農業機関拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連食糧農業機関(FAO)

【所管官庁担当局課・室名】

農林水産省大臣官房国際部海外投資・協カグループ／国際機構グループ

【当該任意拠出金の目的・用途等】

FAOは、世界経済の発展及び人類の飢餓からの解放を目的とした活動を行う食料・農業の国連専門機関。

当該拠出金により、コメの農業統計情報整備、フードバリューチェーン構築、世界農業遺産(GIAHS)の普及、国際的な水産資源管理、食品安全・動物衛生・植物防疫の推進、栄養改善、食品ロス削減、植林地における土地利用計画の整備、温室効果ガスの吸排出量の算定、日・FAO間の連携促進等に関する取組を支援。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	591,422	5,377	-	1ドル=110円	85
平成28年度	546,028	4,550	-	1ドル=120円	87
平成27年度	530,816	4,826	-	1ドル=110円	85

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

平成29年度には、アフリカや東南アジア地域を中心とする各国を対象に、農業統計やコメの販売促進に関する能力向上研修、フードバリューチェーン調査、政府職員を日本に招聘したGIAHSに関する能力強化研修、適切な水産資源管理に向けたデータ収集能力向上支援、植物防疫に関する国際基準策定のための行動計画の作成、食品ロス関連のワークショップ等を実施した。

また、FAOとの連携強化や任意拠出金事業の円滑な実施のための各種協議を当該拠出金で派遣された職員が支援することで、日・FAO間の連携強化が効果的に図られている。

これらの活動は、我が国が有する専門的な知識を活用し、世界の食料安全保障や気候変動等の課題解決に貢献するものであり、我が国が拠出する意義は大きい。

【備考】